



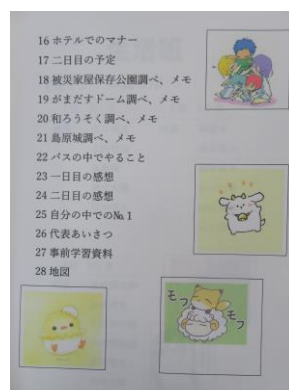
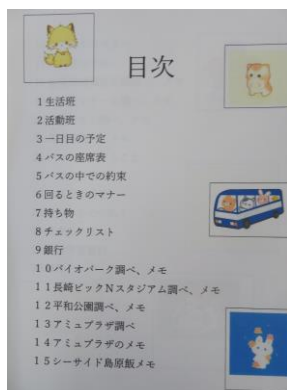
ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和5年10月23日 59号 文責 校長 岩下裕之介

修学旅行

10月19日（木）～20日（金）、一泊二日の日程で修学旅行を実施しました。
19日、在校生や先生方の盛大なお見送りを受け、最初の目的地であるバイオパークに向けて出発しました。



左の写真のように、子どもたちは事前に見学地の情報を調べ、自分たちでパンフレットを作りました。バイオパークの園内では、地図をもとに、人気の動物やその特徴を事前に調べて班別学習の

計画を立てていました。事前にエリアごとにバイオパークで出会う動物たちをピックアップして、「この動物には必ず会おう！」という思いをもって行動していたので、決められた時間内に充実した活動を行うことができていました。

次の目的地は、長崎ビックNスタジアムです。25000人を収容できる人気の球場で、東京ドームと同じ人工芝のグラウンドを見ながら、子どもたちはお家の方が用意して下さった弁当をありがたくいただきました。

昼食の後は、平和公園で平和集会を行いました。口石小学校の全校みんなの思いを込めた千羽鶴を献鶴しました。悲惨な戦争を二度と繰り返さないという誓いと、世界平和への願いが込められた平和祈念像を見ながら、原爆犠牲者のご冥福を祈りました。

平和学習の後は、長崎駅に移動して、かもめ市場とアミュプラザで班別自主研修を行いました。子どもたちはグループの仲間と協力し、お土産選びも楽しみながら活動していました。



その後は、宿泊地の島原市へ向かいます。バスの中はガイドさんによる平和学習の復習をした後に、修学旅行のために自分たちで作ったCDを聞きながら、あっという間にホテルに到着しました。夕食時には、島原名物の豪華な夕食を堪能し、その後は、ホテル自慢の温泉にもつかり、各部屋での友達とのおしゃべりを楽しみ、1日目が無事終了しました。



2日目、最初の見学地は「土石流被災家屋保存公園」と「島原災害記念館（がまだすドーム）」です。雲仙普賢岳噴火による、火砕流や土石流の体験、島原半島の成り立ちの紹介、地球の力や雲仙火山を楽しみ、感じ、学ぶ体験ゾーンなど、改めて被害の大きさを実感するとともに復興への道を学ぶことができました。



次の見学地は「島原城」です。キリスト教の歴史コーナー、土地の歴史、郷土資料、武器類、祭りの資料などを見学しながらお城を回り、天守閣から島原市の絶景を楽しみました。また、お隣の西望記念館では、平和祈念像で有名な北村西望氏の作品を見ることもできました。



午後は、「島原伝統工芸体験」ということで、和ろうそくの絵付け体験を行いました。今では全国に2カ所しか残っていないという、昔ながらの方法で燭（ハゼ）の実から蠟を作るオリジナルの和ろうそく。和ろうそくの原料となる燭（ハゼ）の実を、江戸時代と同じ手法の玉締め式圧搾機で一切の化学薬品使わずに絞り、一本一本丁寧にろうそくを手作りされているそうです。子どもたちは世界にたった一つのオリジナル作品づくりを通して、伝統の大切さを学んでいました。



こうしたたくさんのお思い出を心に刻み込んで口石小学校に戻ってきました。

子どもたちは、どの見学地においても、担当班による自主運営を行い、その態度・内容ともに素晴らしかったです。特に、アイコンタクトをしっかりととりながらの話の聞き方、気持ちの良い反応の仕方、感謝の気持ちの表し方がとても上手だったので、各見学地やホテルの方、バスガイドさんなど、子どもたちのお世話を下さった方々が驚かされていました。流石は口石小学校のリーダーだと改めて感動したところです。

最後になりますが、保護者の皆さまには、子どもたちの健康管理や事前の準備、様々な面で修学旅行を支えていただき本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。